



通称号 定価1部100円(消費税込み) 年間講読料 3,000円(送料含む)

Minshin Press

民進

号外 2017年 1月10日

民進党 民進プレス編集部

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1

電話 03-3595-9988(代表)

メール press@minshin.or.jp

URL https://www.minshin.or.jp/

民進党とやま 2017年春号

民進党

富山県総支部連合会

〒930-0057

富山県富山市上本町8-6 福一ビル 西町2F

TEL.076-461-7751

FAX.076-461-7738

Eメール dpt@lilac.ocn.ne.jp

ホームページ http://www.dpj-toyama.jp

新春のごあいさつ

昨年はいくつかの皆さま方から温かなご支援、ご協力をいただき、誠に有り難うございました。皆さまが穏やかな一年を過ごされることを心より祈念致します。

民進党代表 蓮舫



子供たちと共に (昨年12月11日新潟県)



中高生との意見交換 (昨年11月26日山梨県)

「今に鈍感な安倍政権に代わる選択肢になる」
「政策をアップグレード、国民との連携を深める」

党員・サポーターの皆さまの引き続きのご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

私自身の最大の責務は、これを実現するために次期総選挙で少しでも多くの選挙区で勝利し、仲間を増やすことです。政策の旗印を明確に立て、党員・サポーターの方のもとより、広く国民・市民の皆さんと連携し、そして分かりやすい発信を行っていく。本年もそのために全力を尽くしてまいります。

代表として国会活動や選挙に取り組む中で、巨象のような与党の大きさを痛感しています。それでも私たちは国民のため、わが国の民主主義のため、常に挑戦し続けなければなりません。そして、国民生活にしっかりと目を向ける政治、国民の声を聞く政治を取り戻さなければなりません。

「国民の声を聞く政治へ 総選挙で仲間を増やしたい」

民進党富山県総支部連合会



民進党とやま幹事

今井 基之

第1区総支部 支部長



民進党とやま幹事

濱井 達

水見市議会議員 1期



民進党とやま幹事

阿字野 忠吉

水見市議会議員 2期



民進党とやま幹事

古城 克實

射水市議会議員 3期



民進党とやま政調会長

橋本 雅雄

富山市議会議員 1期



民進党とやま幹事長

寺崎 孝洋

魚津市議会議員 3期

民進党が取り組んだ議員立法

国民の声を受け止めて、政府に先んじて立法化。

192回臨時国会で成立させた議員立法

休眠預金活用法(例) (民進、自民、公明など)
特別養子縁組推進法 (民進、自民、公明など)



改正がん対策基本法 (参厚労委員長)
部落差別解消推進法 (民進、自民、公明)
再犯防止推進法 (衆法務委員長)
改正ストーカー規制法 (参内閣委員長)
改正鳥獣被害防止特措法 (参農水委員長)
教育機会確保法 (民進、自民、公明など)
改正公職選挙法(洋上投票改善) (衆倫選特委員長)
官民データ活用推進法(衆内閣委員長)
無電柱化推進法 (衆国土交通委員長)
自転車活用推進法 (衆国土交通委員長)
バス・トラック等ドライバーの疾病運転防止法
(衆国土交通委員長)
建設工事従事者の安全・健康確保法
(参国土交通委員長)

192回臨時国会に提出した議員立法

※長時間労働規制法案 (民進、共産、自由、社民)
※自衛隊員救急救命法案 (民進、自由)
※被選挙権年齢引き下げ法案 (民進、自由、社民)



大法人所得公示制度法案 (民進)
相談役、顧問等に関する情報開示法案 (民進)
会社法改正案(社外取締役設置義務) (民進)
法人コード統一法案 (民進)
公債特例法廃止法案 (民進)
公会計法案 (民進)
通学路安全確保法案 (民進、希望、無所属)

※継続審議



提出に向けて準備中の法案
障害者の文化芸術活動推進法案
地方議会議員選挙運動ビラ頒布解禁法案、など

189回国会までに提出し継続審議中の法案

分散型エネルギー社会推進4法案、
農業者戸別所得補償法案、ふるさと維持3法案、
復興加速4法案、中小企業社会保険料軽減措置法案、
領域警備法案、国家公務員制度改革3法案、
保育士等処遇改善法案、クォータ制導入法案など



()内は提出会派。

未来に向けた住みよい国づくり

～ 基本的インフラ整備で日本を変える～

1980年代までに、日本の基本的なインフラの普及は欧米先進国と比べて遜色のないものになりましたが、こうした基礎的な社会資本がほぼ整ってからも、1990年代までは、均衡ある国土の発展や、景気対策のためにインフラへの積極的な投資が続けられてきました。

しかし、公共投資の経済効果も、かつてと比べて低くなり、今後のインフラ整備は、経済再生と財政再建の両立、さらには、少子高齢化、人口減少といった社会環境の大きな変化も踏まえながら、各地方の責任を強めて無駄や非効率を排除すると同時に、地域間格差、経済格差が拡大しないよう配慮していかなければなりません。

また、高度経済成長期に整備が加速した国内のインフラの多くは、近年、老朽化や劣化が進み、日本経済の大きなリスク要因となっており、これまでのように新たなインフラを増やすだけでなく、既存のインフラを維持・拡充するなどして、機能や安全性を高めていくことが喫緊の課題です。

民進党の**国土交通ビジョン(国土交通政策)**は、大きく3つの柱で構成されています。**「住宅ビジョン」「観光ビジョン」「総合交通ビジョン」**です。民進党は、これら3つの柱を国土交通政策の基礎として、様々な角度から議論を重ね、2020年の東京オリンピックに

向けて、さらには、その後の日本の姿がどうあるべきなのかを視野に、未来に向けた公共投資のあり方の検討を続けていきます。民進党と一緒に、未来に向けた住みよい国づくりをしてみませんか？

住宅ビジョン

地域の人材・木材を活用して中古住宅市場を拡大し、子育て・高齢者に安全・安心な住環境を実現し、公共建築物への再生可能エネルギーの導入、マンションの省エネ化を進めます。

観光ビジョン

観光資源の付加価値化・ブランド化の促進等で、インバウンド需要を取り込み、休暇改革によって国内観光客を増加させ、消費拡大につとめます。

総合交通ビジョン

行き過ぎた規制緩和の見直し、交通弱者対策の徹底、モーダルシフトの促進によって、エコで安全な交通・物流を整備します。また、高速道路の活用、空港・港湾の選択と集中、新幹線の整備促進により、経済の活力と成長を促します。

未来への責任を果たす!!

2017年

新しい年に 信念を持って臨む!!



民進党とやま政調会長 富山市議会議員
橋本 まさお



民進党富山県第一区総支部長
今井 もとし

ご挨拶

皆様にはお健やかに2017年の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より、格別のご厚情を賜り、心より感謝致します。

昨年は、富山市議会並びに民進党富山県連の不祥事よつて市民の皆様には大変なご迷惑をおかけしました。謹んでお詫び申し上げます。富山市議会議員として、また民進党富山県連の一員として、しっかりとした再発防止策を確立し、開かれた議会、正しい議員活動を皆様にお示しできるよう一層努力してまいります。

さて、富山市は、路面電車の南北接続事業をはじめ、現在富山駅の整備を行っています。それに伴い南北一体的なまちづくりを進め、中心市街地

においても再開発事業が着々と成果を上げているところとです。持続可能な都市をめざし、コンパクトシティー政策のもと、富山は今、大きくその姿を変えようとしています。

このようにいわゆる「ハード」面に多くの予算を投じていますが、おろそかにしてはならないのが「人」への投資です。限られた財源のなか、子ども・子育て支援や高齢社会への対応等、社会保障に充てる予算を確保し、より暮らしやすい街、より優しい街になるよう努力を重ねていかなければなりません。また、地域間格差が生じないように注意していくことも必要なことだと考えています。

本年も市政の課題解決に全力で取り組んでいく所存です。今後とも皆様方にさらなるお力添えとともに、ご指導、ご鞭撻をお願い致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

はじめに、昨年、民進党富山県連所属議員の不祥事よつて、多くの辞職者が出たことに対し、組織の一員として深くお詫び申し上げます。今後はこの様なことが二度と起こらないように、県連一同を引き締めて参りたいと思います。

昨年は『TPP』『年金』『南スーダン』『カジノ』『北方四島』等、多くの事が通り過ぎてしまい、この国の未来に大きな瑕疵を残す結果になりました。私たちはそれに対して全力を尽くしたといえるのか、省みても結果は変わりません。野党第一党であり、国会内で二番目の勢力を持つ政党の意義と責任は益々重くなつていくでしょう。

今年も年頭より『組織的犯罪処罰法改正案』『いわゆる共謀罪』『家庭教育支援法』等、問題点の多い法案の審議がございます。厳しい状況が想定される中、国民の権利を著しく侵害する恐れのある法案です。慎重な審議が求められる中、昨年末の国会の様態に数による強行採決が許す訳には参りません。確かな野党としてその責務を国民の皆様に向かつて果たす為にも、私達が立ち止まる事は許されません。

トランプ大統領の就任、英国のEU離脱、この国は舵を大きく切る局面になりました。行き過ぎた開放政策は人口の僅か1%の方の政策である事が世界的に認められたのです。我が国も正しき民主主義に則つて、残り99%の国民に向けた正しい政治理念を持った新しい政治家が求められるでしょう。スローガンやプロパガンダを唱えるのではなく、国民の言葉に真摯に向き合い、国民に判る言葉で政治を伝える事で信頼回復と新しい年に新たな一歩を歩み始めようと思つています。

そして日々の生活の中、頑張っている方々を応援できる政治、そんな国づくりを全力で頑張りたいと存じます。